

E N E O S 海外渡航支援事業報告書（学会渡航）

2025 年 12 月 25 日

工学部・工学研究科修士課程（どちらか○で囲む）
所属学科・専攻・回生 材料化学 学科・専攻 2 回生

氏 名 徳留 悠樹

1. 参加期間 2025 年 12 月 1 日 から 2025 年 12 月 3 日

2. 会場（開催国・場所・機関等）

タイ・バンコク・Bangkok International Trade & Exhibition Center (IRC2025)

3. 発表成果（概要）

フィラー充填エラストマーの重要な力学特性として、目に見えない内部構造の破壊に相当する応力軟化効果がある。本研究は、不均一変形下での応力軟化効果の解析法を確立し、フィラー充填エラストマーの空孔欠陥周辺およびき裂先端周辺の不均一なひずみが誘起する応力軟化効果による内部ダメージの空間分布を評価した。

得られた成果について、「Spatiotemporal Analysis of Internal Damage Induced by Nonuniform Deformation in Filled Elastomers」というタイトルで、Progress in Rubber Characterization のセッションにてポスター発表を行いました。発表中は様々な機関の方から質問をいただき、自身の研究について産業・学術の両面から捉え直す良い機会となりました。

4. 奨学金の使途

学会参加費、渡航費用の一部に使用した。